

2020年11月2日
七十七証券株式会社

「2020年度『顧客本位の業務運営に係わる実践計画』」にかかる 取組状況について（上半期分）

七十七証券株式会社（社長 津田 政克）では、「<七十七>お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づき、「2020年度『顧客本位の業務運営に係わる実践計画』」（以下「計画」といいます。）を策定し、各種施策を検討・実施しております。

2020年度上半期における計画の取組状況について、下記のとおり取り纏めましたので、お知らせいたします。

記

1. 主な計画の内容

（1）お客さまにふさわしいサービスの提供

- A. オンラインサービスを活用した施策の実施
- B. 金融商品の販売にかかる成果指標（共通・自主的KPI）の策定・公表
- C. 多様化するお客さまニーズを踏まえた商品ラインアップ等の見直しおよび拡充
- D. お客さまへのフォローアップの充実
- E. 七十七銀行と連携した投資信託セミナーの開催

（2）お客さまに分かりやすい情報提供

- A. 資産運用、マーケット状況に関する情報提供のためのセミナーの開催
- B. お客さまに、より分かりやすく情報提供を行うための営業員研修の実施
- C. ホームページ等を活用した情報提供の充実化

（3）利益相反の適切な管理

- 利益相反管理の実効性にかかる分析・評価、および結果を踏まえた改善策の検討・実施

（4）社内体制の強化および啓蒙

- 各種研修会等を通じた、お客さま本位の取組みにかかる指導・啓蒙（研修カリキュラムの充実）

2. 2020 年度上半期における主な計画の取組状況

(1) お客様にふさわしいサービスの提供

主な取組内容（計画）	取組状況
A. オンラインサービスを活用した施策の実施	<p>A. 多くのお客様に、オンラインサービスおよび取引報告書等の電子交付サービスをご利用いただくため、2020 年 7 月より「＜七十七証券＞オンラインサービスキャンペーン」を実施しております。（キャンペーン期間：2020 年 7 月 1 日～2020 年 12 月 31 日）</p> <p>今後も、お客様の利便性向上を図るため、オンラインサービスを活用した施策の実施を検討してまいります。</p>
B. 金融商品の販売にかかる成果指標（共通・自主的 K P I）の策定・公表	<p>B. 共通 K P I および自主的 K P I（2020 年 3 月末時点）を策定し、2020 年 6 月に公表しております。</p> <p>また、別添資料に自主的 K P I の取組状況（2020 年 9 月末時点）を記載しております。</p> <p>金融商品の販売にかかる成果指標の策定・公表につきましては、今後も継続してまいります。</p>
C. 多様化するお客様ニーズを踏まえた商品ラインアップ等の見直しおよび拡充	<p>C. お客様のニーズを踏まえた投資信託や外国債券等の商品を投入、入れ替えるなど適宜、商品ラインアップの見直し、拡充を図っております。</p>
D. お客様へのフォローアップの充実	<p>D. お客様が保有する商品の運用状況やマーケット動向等について、フォローアップを実施するとともに、相場急変時等におけるフォローアップについても徹底を図っております。</p>
E. 七十七銀行と連携した投資信託セミナーの開催	<p>E. 受益者の皆さまに対し、投資信託ファンドの運用状況等について説明を行うため、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえながら、七十七銀行と連携した投資信託セミナーの開催を検討してまいります。</p>

(2) お客さまに分かりやすい情報提供

主な取組内容（計画）	取組状況
A. 資産運用、マーケット状況に関する情報提供のためのセミナーの開催	A. 資産運用、マーケット状況に関する情報提供のためのセミナーにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が続いている状況等を踏まえ、開催を見合わせております。今後につきましては、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえながら、開催について検討してまいります。
B. お客さまに、より分かりやすく情報提供を行うための営業員研修の実施	B. 日々の取引に対するモニタリングにより説明状況の確認、チェック、営業担当者への指導を行うとともに、研修を随時実施するなどして、営業担当者へ、お客さまにより分かりやすく情報提供を行う取組姿勢の醸成・意識付けを徹底しております。
C. ホームページ等を活用した情報提供の充実化	C. お客さまへの情報提供にかかる取組みとして、当社ホームページの「市場レポート」欄において、証券会社および投信会社作成のマーケットレポート等の配信を行っております。今後につきましても、ホームページを活用し、情報提供を行ってまいります。

(3) 利益相反の適切な管理

主な取組内容（計画）	取組状況
○ 利益相反管理の実効性にかかる分析・評価および結果を踏まえた改善策の検討・実施	○ 新規業務や商品、サービス等の導入にあたっては、利益相反管理の要否を確認するとともに、商品販売状況等のモニタリングにおいて、利益相反管理が必要な商品等の取扱いがないこと、および利益相反管理の実効性にかかる問題はないことを確認しております。

(4) 社内体制の強化および啓蒙

主な取組内容（計画）	取組状況
○ 各種研修会等を通じたお客さま本位の取組みの指導・啓蒙（研修カリキュラムの充実）	○ お客さま本位の業務運営全般にかかる社内全体の研修会や、コンプライアンスに重点を置いた倫理観向上のための研修会を開催するとともに、倫理コードや勧誘方針等を掲載したカードを全役職員が常時携行し、お客さま本位の取組みについて徹底しております。

以上

●投資信託販売上位銘柄の調査

お客様の多様な運用ニーズにお応えする投資信託商品を取り揃えるため、定期的に投資信託の販売上位銘柄の調査を行い、商品ラインアップの見直し、拡充に活用しています。

<2017年度>

(単位：百万円、%)

No.	商品名	商品種類	販売額	販売比率
1	ひふみプラス	内外株式	930	18.1
2	グローバルAIファンド	内外株式	603	11.7
3	いちよし ジャパン・ベンチャー・ファンド	国内株式	572	11.1
4	いちよし 中小型成長株ファンド	国内株式	546	10.6
5	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	海外債券	299	5.8
6	ワールド・ビューティ・オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	260	5.1
7	新光ビュア・インド株式ファンド	海外株式	211	4.1
8	野村インド債券ファンド(年2回決算型)	海外債券	207	4.0
9	グローバル・ホリテックス株式ファンド(1年決算型)	内外株式	185	3.6
10	BNY Mellon・日本株式ファンド 市場リスク管理型	国内株式	163	3.2

<2018年度>

(単位：百万円、%)

No.	商品名	商品種類	販売額	販売比率
1	いちよしジャパン成長株ファンド	国内株式	898	18.8
2	企業価値成長小型株ファンド	国内株式	661	13.8
3	日経225ノードオープン	国内株式	333	7.0
4	サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	330	6.9
5	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	内外株式	293	6.1
6	netWIN GS・インターネット戦略ファンドBコース為替ヘッジなし	海外株式	269	5.6
7	野村インド債券ファンド(年2回決算型)	海外債券	209	4.4
8	グイワ・グローバルIoT関連株ファンド AI新時代(為替ヘッジなし)	内外株式	171	3.6
9	ひふみプラス	内外株式	137	2.9
10	いちよし 中小型成長株ファンド	国内株式	118	2.5

<2019年度>

(単位：百万円、%)

No.	商品名	商品種類	販売額	販売比率
1	サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	779	14.2
2	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	内外株式	722	13.1
3	グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	687	12.5
4	グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)	内外バランス	453	8.2
5	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	海外株式	374	6.8
6	企業価値成長小型株ファンド	国内株式	202	3.7
7	日経225ノードオープン	国内株式	173	3.1
8	サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり)	内外株式	147	2.7
9	インデックスファンド225	国内株式	146	2.6
10	ビクター・アセット・アロケーション・ファンド(1年決算型)	内外バランス	130	2.4

<2020年度上半期>

(単位：百万円、%)

No.	商品名	商品種類	販売額	販売比率
1	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	海外株式	964	28.8
2	企業価値成長小型株ファンド	国内株式	398	11.9
3	サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	363	10.8
4	netWIN GSテクノロジー株式ファンドAコース(為替ヘッジあり)	海外株式	308	9.2
5	東京海上・グローバルヘルスケアREITオープン(年1回決算)	内外REIT	204	6.1
6	グローバルAIファンド	内外株式	200	6.0
7	野村米国ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	海外株式	198	5.9
8	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	内外株式	79	2.4
9	サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり)	内外株式	78	2.3
10	ひふみワールド+	海外株式	70	2.1

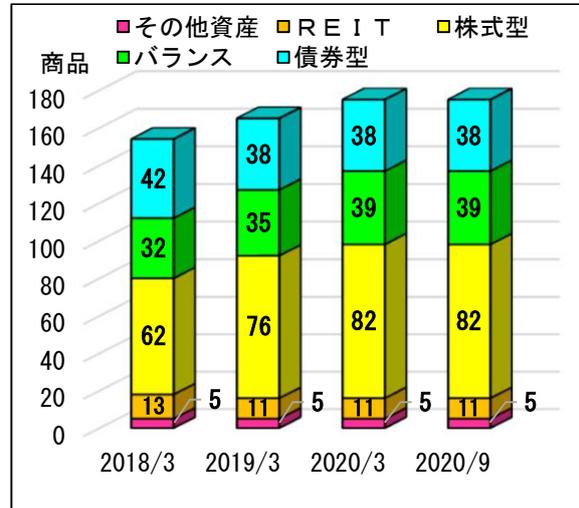
●多様化する顧客ニーズを踏まえた商品ラインアップ等の見直し、拡充

お客様の多様な運用ニーズにお応えするため、市場動向や販売状況の調査結果等を踏まえ、外国債券および投資信託の商品ラインアップ等を定期的に見直すとともに、商品の拡充を図っています。

<外国債券銘柄数>



<投資信託商品数>



<投資信託商品数内訳>

(単位：商品)

商品種類	2018/3			2019/3			2020/3			2020/9		
	商品数	うち銀行証券	うち証券のみ	商品数	うち銀行証券	うち証券のみ	商品数	うち銀行証券	うち証券のみ	商品数	うち銀行証券	うち証券のみ
債券型	42	19	23	38	16	22	38	16	22	38	16	22
国内債券	7	2	5	5	1	4	5	1	4	5	1	4
内外債券	4	4	0	3	3	0	3	3	0	3	3	0
海外債券	31	13	18	30	12	18	30	12	18	30	12	18
バランス型	32	23	9	35	22	13	39	23	16	39	23	16
国内バランス	2	2	0	3	2	1	3	2	1	3	2	1
内外バランス	20	18	2	20	17	3	24	18	6	24	18	6
海外バランス	10	3	7	12	3	9	12	3	9	12	3	9
株式型	62	17	45	76	20	56	82	19	63	82	19	63
国内株式	19	10	9	23	11	12	24	11	13	24	11	13
内外株式	19	3	16	28	5	23	29	4	25	29	4	25
海外株式	24	4	20	25	4	21	29	4	25	29	4	25
REIT	13	7	6	11	7	4	11	7	4	11	7	4
国内REIT	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0
内外REIT	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2
海外REIT	8	4	4	6	4	2	6	4	2	6	4	2
その他資産	5	4	1	5	4	1	5	4	1	5	4	1
国内その他資産	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1
海外その他資産	4	4	0	4	4	0	4	4	0	4	4	0
合計	154	70	84	165	69	96	175	69	106	175	69	106

※ 「商品数」欄内訳の「うち銀行証券」は、当社取扱商品のうち七十七銀行においても取扱いのある商品、「うち証券のみ」は、七十七銀行で取扱いのない商品の数を記載しています。

●銀証連携の強化

・七十七銀行との銀証研修会の開催
 七十七銀行行員の金融商品販売スキル向上等を目的として、当社営業員を講師とした銀証研修会を開催し、お客さまのニーズに沿ったポートフォリオ提案や、分かり易い説明等、お客様への提案の「質」向上を図るための取組みを行っており、今後も、継続して実施してまいります。

・七十七銀行と連携した投資信託セミナーの開催
 七十七銀行と投資信託セミナーを共同開催し、当社・七十七銀行が取扱う投資信託商品の運用状況等を、お客さまにご報告する場を設けております。今後も、七十七銀行との連携による投資信託セミナーを定期的で開催し、お客さまに有益な情報の提供に努めてまいります。

項目		実績(開催店・参加者)
七十七銀行との銀証研修会の開催	2018/上	18ヵ店
	2018/下	42ヵ店
	2019/上	31ヵ店
	2019/下	25ヵ店
	2020/上	74ヵ店
七十七銀行と連携した 資産運用セミナーの開催	2018/8	69名
	2019/2	145名
	2019/8	122名
	2020/2	101名

●顧客に分かりやすい情報提供

・資産運用、マーケット状況に関する情報提供に資するセミナーの開催
 お客さまに、資産運用、マーケット状況に関する情報を提供するため、セミナーを開催しております。今後も、同様のセミナーを開催し、お客さまへの情報提供に努めてまいります。

項目	実績(参加者)
開業1周年セミナー(2018/4)	143名
投資信託セミナー(2018/7)	54名
新春セミナー(2019/1)	110名
<七十七>会社説明会・投資セミナー(2019/9)	103名
マーケットセミナー「セブンサロン」(2019/6~2020/2)	9回/126名
七十七証券新春セミナー 兼 七十七銀行会社説明会 (2020/1)	110名
<七十七証券>マーケットセミナー(2020/2)	30名